

新明正道 教務員 社會學者、文學博士。明治二十一年二月、千四百臺
北市生れ、昭和五十九年八月二十日歿（八六―一九六）。筆名秋田直一、
M・S生。大正十年東京帝國大學法學部政治學科卒。關西學院大學教
授のち、十五年東北帝大教授。昭和二十八年定年後、明治學院大學
・中央大學・立正大學・創價大學各教授歴任。△新ハル総合社会学を
構想し、「新明社会学」を樹立（大道安次郎）した。日本社會學會
會長。

著書『革命ロシヤ研究十講』（合著・前衛社）田所照朗編、大正十一
年十月二十八日酒井書店）、『勞農聯邦研究』（合著・社會思想社編、

昭和二年十一月十日春秋社）『社會思想研究叢書』（）、『獨逸社會學』

（昭和四年二月十日日本評論社）『社會科學叢書』（）、『社會學』（昭

和四年六月十日岩波書店）『續社會叢書』（）、『國民革命の社會學』（昭

和十年十二月二十日博文堂書店）『最近經濟問題叢書』（）、『フアシズ

ムの社會觀』（昭和十一年十二月二十五日岩波書店）、『ゲマインシ

ヤント』（昭和十一年九月二十日刀江書院）、『社會學の基礎問題』

（昭和十四年六月一日弘文堂書房）、『時代の條件』（合著・池島重

信編、昭和十五年九月十七日名取書店）、『時代と學問』（合著・永

田清編、昭和十八年九月二十一日慶應出版社）、『デモクラシー概論』

（昭和二十一年五月二十日河出書房）、『再建の指標』（合著・帝國

大學新聞社編、昭和二十一年十月二十日勤勞學徒援護會）『學徒叢書』（

『社會學の發端』（昭和二十二年二月一日有恒社）、『ユバルンシ修正

派マルクス主義（社會主義の前提と社會民主黨の任務）』（昭和二十

二年二月二十日鶴書房）『社會思想新書』（）、『イデオロギー論考』（昭

和(二十四年七月)(二十日圖書院)、
日(二十一年十一月)研究(合著・水卜英廣
編)昭和二十七年八月(二十一日社會思想研究會出版部)、
日社會學史
概説』(昭和二十九年一月五日岩波書店「岩波全書」)等。